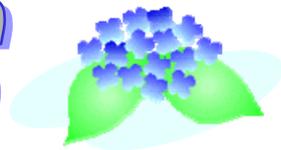


パートナーシップNEWS



第22号 平成16年12月

発行：パートナーシップ推進課

パートナーシップ最前線！



相模原いきごみ隊

～わが町生ゴミ減量プラン～

「相模原いきごみ隊」は平成15年度にさがみはら市民活動サポートセンターで行われた「まちづくりセミナー」から誕生したグループで、各家庭のキッチンと農家を直接結んだ、生ゴミの回収システムづくりに取り組んでいます。

この事業は、「相模原いきごみ隊」「有限会社青空農園」「東第3自治会」「さがみはらリサイクル連絡会」が連携して行っており、今年度は東第3自治会を中心にワークショップや学習会を開催しながらモデル事業として実施しています。



10月に行われたワークショップの様子

このモデル事業に先立って行われたモニターによるテストでは、1世帯・1週間あたりの生ゴミについて、5キログラムもの減量を確認できたとのことでした。

家庭で出た生ゴミを堆肥として利用してもらい、できた野菜を食べてもらうというモデルを構築し、今後は、ほかの地域でもこのシステムが実施できるように、情報を公開していくそうです。

生ゴミ→有機野菜の循環ルート



家庭からの1週間分の生ゴミにボカシ肥を混ぜて、密閉容器に入れます。

容器は回収拠点から農場（青空農園）に運ばれます。



農場（青空農園）で1週間経つと「生ゴミのボカシ肥あえ」になります。



「ボカシ肥あえ」は畑の溝に土と混ぜながら埋められます。



容器は農場（青空農園）で洗浄されます。

生ゴミを出した同じ日の夕方には、青空農園の有機野菜が入られた容器が、回収拠点に運ばれてきます。

* この事業は、パートナーシップ事業助成金の交付対象事業です。